

# 日本の最高峰 その名は“富士山”に行ってきました

2008. 6. 14 (土)

L 灰谷 稲葉 土田 吉住 金子 山田 (記)

日本一高い山なのに何故か自分の中ではあまり魅力を感じなかった山。登るより見る山、恐らくその高さゆえに心の奥底で高度障害、体力的な自信の無さからそのように決め付けてしまっていたのではないかと思う。その富士山に予報ではあまり天気が優れない模様であったが、日頃行いの良い？メンバーが揃ったせい、梅雨の合間の晴天に恵まれたすばらしい日に登る機会を得た。

前夜鶴見に集合し、途中東名高速伊勢原バス停にて稲葉さんと合流、一路富士宮口の五合目に向けて出発した。三合目付近を車で登っていると風があるようなので、途中トイレのある広場で幕営をすることになった。車中で、毎度恒例となっている入山祝いが始まり、一時間半で切り上げようとの約束であったが、ビール、缶酎杯、泡盛 etc・・・やはり一時間半では済まず午前様になってしまった。

四時に起床してテントを片付け、各自朝食を摂り出発した。土田さんは前夜、飲み会があったので当日現地で合流の予定。電話を入れると御殿場をおりた所だった。五合目に到着し、土田さんは追っかけ登ってくるとの事で、準備を整え5時に日本で一番高いところを目指して出発した。Lの灰谷さんは初富士の私や吉住さんを気遣ってくれているのか、ゆっくり目のペースで登り始める。六合目の小屋で休憩していると土田さんが追いついて来た。メンバーが全員揃い改めて頂上を目指し出発した。遠くから見るとコニーデ型の美しい山であるが、間近で見ると以外にごつごつした山肌で、おまけに常に山頂は見えているけどなかなか近づかない。意外と意地悪な山に閉口しながらも一歩一歩登っていく。今回の山行のために秘密兵器を用意した。ハイドレーションシステムをザックに忍ばせ、ドリンクチューブよりいつでも給水できるようにしたのだ。がしかし、このチューブ意外と吸引力が必要で、歩きながら使用すると、空気が薄いため一口飲む度にハアハアハアハア息があがってしまう。八合目で休憩していると日頃の不摂生？昨夜のハイオクガソリン？の為か、灰谷さん、土田さんは頭痛が、稲葉さんはムカムカすると高度障害が出ているようであった。この辺りから登山道にも残雪が多くなり九合目からはアイゼンを付けて登った。10時過ぎやっと頂上に到着！と思ったら、剣ヶ峰はさらに奥であった。10時45分、ついに日本で一番高い場所に立つことが出来た。日本全国で自分より高いところには誰も居ない優越感と達成感。山頂からの眺めは噴火口の雄大さとは裏腹に、測候所の人工構築物が対称的で何とも言えぬ思いであったが、何はともあれ、日本の最高峰へ無事行ってきました。